

「晋山式を迎えるにあたって」

令和三年四月一六日

来月、昨年来延期していた晋山式を迎えることになりました。

晋山式とは

「晋」は進むの意。

「山」は寺のこと。お寺には山号がある。安龍寺の山号は洞雲山。

晋山式とは新たに住職がお寺に入る儀式のこと。

前住職である師匠、父の姿を見て

師匠は若い頃にその前の住職（師匠の父、私の祖父）が亡くなり、その後を継いで約五十年住職を勤める。

役場に勤めながらお寺の仕事もし、私たち家族を養う。五十代で早期退職し、寺の仕事に専念するようになる。その頃から寺の整備を少しづつしていった。

師匠はとにかく時間があれば作務をしているような人。

雨でも雪でも少し晴れ間があれば外にでて作業をはじめめる。

作務が師匠の行持。

行持：行は修行で、修行者

としてなすべきこと。

持は護持、持続、たもつ、の意。修行を常にやめないこと。修行生活。修行による仏道の護持。仏道修行者の正しい生活姿勢の努力。（仏教語大辞典）

師匠の守ってきた安龍寺を引き継ぎ、これから自分に何ができるのか。しっかりと考え勤めていきたい。



加茂法話会
安龍寺 齋藤隆光